

令和4年災 災害査定の効率化

○ 被災自治体の災害査定に要する業務等を大幅に縮減し、早期に災害査定を行い、復旧事業に着手することで、被災地の早期復旧を支援するために、災害査定の効率化を実施。

災害名	効率化（簡素化）項目		
	机上査定額	採択保留額※	設計図書の簡素化
通常の災害査定	3百万円未満	4億円未満	—
令和4年3月福島県沖地震 (個別協議)	36百万円以下：仙台市 20百万円以下：福島県 15百万円以下：宮城県	—	宮城県、福島県、仙台市

(令和4年4月1日より、机上査定の限度額を300万円から1,000万円に引き上げ)

災害名	効率化（簡素化）項目		
	机上査定額	採択保留額※	設計図書の簡素化
通常の災害査定	1千万円未満	4億円未満	—
令和4年低気圧や前線による大雨 (個別協議)	15百万円以下：山口県	—	宮城県、山口県
令和4年8月3日からの大雨等 (本激指定)	15百万円以下：滋賀県 20百万円以下：岩手県 22百万円以下：福島県、石川県 23百万円以下：秋田県 24百万円以下：福井県 27百万円以下：北海道 30百万円以下：青森県、山形県、新潟県	8億円未満 (青森県、秋田県、 山形県、新潟県、 福井県)	北海道、青森県、 岩手県、秋田県、 山形県、福島県、 新潟県、石川県、 福井県、滋賀県
令和4年台風第14号、 第15号の暴風雨等 (本激指定)	20百万円以下：山口県、宮崎県 35百万円以下：浜松市 40百万円以下：静岡県 53百万円以下：静岡市	6億円未満 (静岡県、宮崎県、 静岡市)	静岡県、山口県、 宮崎県、静岡市、 浜松市
令和4年台風第14号、 第15号の暴風雨等 (個別協議)	30百万円以下：熊本県	—	熊本県

※一箇所の決定見込金額が4億円以上となる場合、現地査定では採択を保留し、後日、国交本省と財務本省の協議により採否、金額が決定